

グローバルな見方・考え方を育てる —若い世代を応援しています—



高校生のためのグローバルセミナー

毎年高校生と大学生が活発な意見交換をして大盛況の「高校生のためのグローバルセミナー」。8年目となる今年は「世界に通用する人間の条件」をテーマに、埼玉大学との共催で開催しました。

海外留学経験のある社会人2名による講演では、海外留学によって夢を実現した話に、参加した学生は皆興味深く聞き入っていました。

午後はグループに分かれ、高校生、外国人留学生、海外留学の経験がある日本人学生が今回のテーマについて話し合いました。高校生は最初こそ緊張していたものの、いつしか全員が活発に発言するように。発表に向けての準備は大学生のアドバイスのもと高校生が行い、どのグループも個性が光るすばらしい発表となりました。このセミナーが自分の将来を考えるきっかけになることを願っています。



高校生の感想

- ・いろいろな意見を聞くことで視野が広がり柔軟性も増しました。
- ・語学力も大事ですが、それ以上にコミュニケーションや笑顔、人と人とのつながりが重要だと思いました。

大学生の感想

- ・高校生の協調性と行動力の高さに感心しました。
- ・違う意見を一つにまとめるのは難しいですが、一体感と達成感が得られました。



国際理解教育プログラム 世界へのトビラ

「世界へのトビラ」とは、協会から派遣された外国人講師や海外でのボランティア経験者が小・中学校や高校で外国の文化や料理、ボランティア体験を紹介する事業です。子どもの頃から世界のさまざまな文化や価値観を理解し、国際感覚を養う貴重な体験になっており、2015年度は47の学校・団体で、のべ7,627人が参加しました。



●文化紹介

外国人講師が母国についてお話しします。生活習慣や学校生活など子どもたちにとって身近な話題が中心です。

●調理実習

調理方法だけでなく、食習慣や食にまつわる文化も紹介します。

●海外ボランティア経験者の体験談

(独)国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊の元隊員や個人、団体にボランティア活動に参加した方が、海外へ行こうと思った動機や海外での活動、海外生活から日本を振り返り、日本人の視点から体験談を語ります。

※その他にも、市町村からの依頼に基づき、公民館などで文化紹介や調理実習を行っています

いった声が寄せられました。今後もこのような学生同士の交流の場を作っていきたいと思っています。

鉄道博物館でボランティアガイドの説明を聞く外国人留学生と通訳をする日本人学生



ガラス工房でオリジナル箸置きを作成。みんな真剣です!

日本人学生と外国人留学生が バスツアーで 埼玉の魅力発見!

GGSでは年に一回、埼玉大学と共催で日本人学生と外国人留学生の交流を目的としたバスツアーを行っています。今年は鉄道博物館と川越の醤油蔵、ガラス工房を見学しました。各見学先では、数グループに分かれ、日本人学生がリーダーとなって来日して間もない留学生に対して英語で親切に案内をしたり、ボランティアガイドの通訳をしていて終始和やかな雰囲気でした。

外国人留学生からは「日本人学生と会話を楽しみながら埼玉のよいところをたくさん見られてよかった」、日本人学生からは「通訳は大変だったけど、‘おもてなし’の心を学んだ」と